

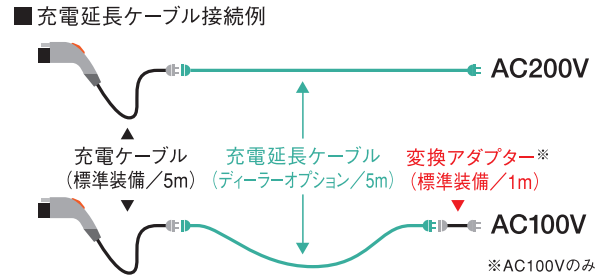
電気工事に関するQ&A

Q. 特別な電気工事業者に依頼する必要はありますか？ また、メーカー指定の電気工事業者はありますか？

A. 一般の電気工事業者様で工事ができます。従来よりお付き合いのある電気工事業者様や下記全日電工連にご相談下さい。尚、メーカー指定の業者はありません。(全日電工連 連絡先 <http://www.znd.or.jp/ev-charge.html>)

Q. AC200V充電ケーブル(標準装備)だけだとコンセントに届かないのですが？

A. 普通充電用充電口から5m以内のコンセント設置を推奨いたしますが、標準装備のAC200V充電ケーブル(5m)に加え、ディーラーオプションで5mの充電延長ケーブルをご用意していますので、必要にあわせてご利用ください。
ただし、充電延長ケーブルの使用は1本までとしてください。2本以上つなげると電圧が低下するため、充電ができない場合があります。また、市販の延長ケーブルなどは絶対に使用しないでください。



充電延長ケーブル(ディーラーオプション)



市販の延長ケーブルなどを使うと、電圧が下がり充電時間が長くなったり、充電が途中で止まったりします。ドラム式のリールの場合、過熱、発火の恐れがあるので、絶対に使わないでください。

Q. 市販のアース変換プラグなどは使用できますか？

A. できません。火災や充電機能不全などのトラブルの原因となりますので絶対に使用しないでください。必ずアース付きのコンセントを準備願います。







感電のリスクが高まりますので、絶対に使わないでください。

Q. 分譲マンションの1Fに住んでいます。駐車場が目の前なのでベランダからケーブルをつないで充電しようと思いますが、可能ですか？



A. 一般的に占有部分の工事は問題がないので、分電盤等の工事は行えますが、ケーブルが共用部を通るのであれば管理組合等との調整が必要です。また、外壁は共用部分ですので、ここに穴を開ける場合も同様です。ただし、エアコン工事などで外壁に穴を開けることが慣例的に許可されるケースもありますので、工事内容を管理組合・管理会社にご確認ください。

----- 切り取り線(電気工事業者様へお渡しください) -----

1. 電源環境について

<p>単相3線式 AC200V (最大電流15A)</p> 	<p>200V</p>  <p>接地極</p> <p>※写真は屋外用防水タイプ</p>	<p>パナソニック電工製</p> <ul style="list-style-type: none"> 引掛防雨コンセント WK6520(屋外用) 引掛埋込コンセント WF2520(屋内用) 引掛露出コンセント WK2520(屋内用) <p>周波数は、50Hz or 60Hzいずれも可</p> <p>注意事項</p>	<p>使い勝手の面から、AC200Vによる充電を推奨します。AC200Vの場合、消費電力は3000Wとなり、AC100V換算で30Aの電流を消費します。電力会社との契約アンペア数が何アンペアとなっているか、確認が必要です。</p>	<p>電気自動車充電用には、途中で充電が止まることを防ぐためにも、配電盤から専用線を引いていただくことを推奨します。(子ブレーカーの容量は20Aの場合が多く、他の電気機器との併用は、子ブレーカーが落ちる可能性があります。)なお、充電ケーブルおよび車両本体には充電中のプラグの施錠機能はありません。</p>
<p>単相3線式 または、単相2線式 AC100V (最大電流15A)</p> 	<p>100V</p>  <p>※写真は屋外用防水タイプ</p>	<p>パナソニック電工製</p> <ul style="list-style-type: none"> WK4106 <p>注意事項</p>	<p>AC100Vで換算充電する場合も、必ずアース付きコンセントを使います。プラグの抜け防止のため、引掛形(差し込んで回してロックするタイプ)を推奨します。</p>	

2. 確認事項

<p>漏電遮断器の設置</p>  <p>写真は50Aの単相3線もしくは三相3線式用(パナソニック電工製)</p> <p>注意事項</p>	<p>屋内の配電盤に写真のような漏電遮断器が設置されているかどうかを確認してください。この機器は、漏電による感電事故や火災を防ぐために、漏電を検知すると直ちに電気を遮断するものです。屋外で大電流を消費する電気自動車の充電には、必須の機器です。</p>	<p>コンセント設置</p>  <p>ケーブル長 5m</p> <p>注意事項</p>	<p>普通充電充電口</p> <p>車両右後方に普通充電用充電口があるため、AC200V充電ケーブル長(5m)以内のコンセント設置をお願いします。</p>
---	---	---	---

※市販のアース変換プラグや延長ケーブルは絶対に使用しないでください。



充電環境設置のために

i-MiEV ご購入をご検討いただき、誠にありがとうございます。

i-MiEVを充電し、快適にお使いいただくために
お願いしたい事があります。



Drive@earth



工事が必要か確認をお願いします。

100%電気で走るi-MiEVには充電できる保管場所が必要です。充電用の専用線(コンセント)がない場合は電気工事が必要となります。下記を参考にして、工事が必要かどうかの確認をお願いします。

① アース付きのコンセントが必要です。(AC200VまたはAC100V)

充電時間の短いAC200Vコンセントの設置をお勧めします。コンセントは必ずアース付きを使用し、保管場所が屋外にある場合は防雨型コンセントを設置ください。※詳しくは電気工事業者様にご相談ください。



② 分電盤には漏電遮断器を設置してください。

右記のような漏電遮断器が設置されているかどうかを確認し、もしなければ設置してください。

写真は50Aの単相3線もしくは三相3線式用(パナソニック電工製)

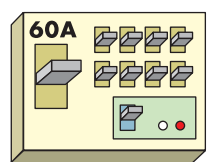


この機器は、漏電による感電事故や火災を防ぐために、漏電を検知すると直ちに電気を遮断するものです。大電流を消費する電気自動車の充電には、必須の機器です。

③ 15Aの電流が流れてもブレーカーが落ちない使用環境が必要です。

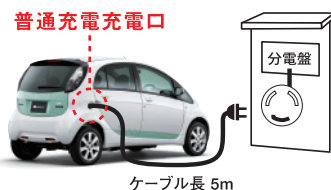
i-MiEVの充電には最大15Aの電流が流れます。エアコンを設置するのと同じ様に、分電盤から(余裕を見て)20Aの専用線を引くことを推奨しておりますが、まずは15Aの電流が流れてもブレーカーが落ちない使用状況にあるかどうかをご確認ください。

※電気の使用状況がお客様ごとに違いますので、詳しくは電気工事業者様にご相談ください。



④ 標準装備のAC200V充電ケーブルは、長さが5mです。

標準装備のAC200V充電ケーブルは5mですので、コンセント新設の際はケーブルの取りまわしを充分考慮の上、設置してください。やむを得ず5m以上となる場合は、ディーラーオプションの延長ケーブルをご利用ください。尚、コンセントがAC100Vの場合は、AC100V変換アダプター(標準装備)で充電してください。



車両右後方に普通充電用充電口があるため、AC200V充電ケーブル長(5m)以内のコンセント設置をお願いします。

集合住宅の駐車場の場合は電源が共有物となるため、お客様自身での調整が必要です。

集合住宅(マンション等)でも可能な場合

- 個別の占有駐車場に電源(コンセント)がある場合。
- 駐車場にi-MiEVに対応する電源(コンセント)があり、管理会社(大家様)、居住者などに使用を承認していただけた場合。(使用料金、使用条件含む)

※上記以外の場合は、対応が困難です。

工事費の目安(概算)

下記は工事が必要な場合の費用の目安です。ただし、地域や工事内容で金額は異なりますので、あくまでも目安としてお考えいただいた上で、お客様の電源環境に合わせた見積りを電気工事業者様へお願いしてください。

200V/100V共通			100V→200Vへ変換
A 分岐ブレーカー 開設の場合 【工事費】 約1.5万~2万円	B 分岐ブレーカー 増設の場合 【工事費】 約2万~2.5万円	C 分電盤交換 の場合 【工事費】 約5万~6万円 <small>※電力プランのご契約を見直す 必要があります。詳しくは電力会 社様にご相談ください。</small>	D 電柱から 200V線引き込み/ 分電盤交換の場合 【工事費】 約10万~15万円 <small>※各保管場所の配電環境(例:電柱から の距離)によって金額が大きく異なり ます。詳しくは電気工事業者様 にご相談ください。</small>
+			
E 上記 A~D に加えて、配線とコンセント設置費(=5万円程度) ※現場調査・個別内容で金額は異なります			

夜間電力プランについて

現在、各電力会社様では夜間電力が安くなるプランをご用意されています。『夜間電力』プランを利用するためには、契約の変更が必要となります(一般のご家庭では夜間・昼間も同じ単価の『従量電灯』というプランが一般的です)。『夜間電力』プランは、夜間安くなる分昼間の単価が高くなっておりますので、普段の電気使用状況を考慮し、電力会社様にご相談ください。

オール電化住宅にお住まいの方は、すでに夜間時間帯の電気料金が安くなるプランにご契約している場合がありますので、ご自身の契約をご確認下さい。

※電気料金・契約プラン等の詳細は、各電力会社様へお問い合わせください

----- 切り取り線(電気工事業者様へお渡しください) -----

i-MiEV 電気工事について

◎i-MiEVの充電には下記環境が必要です。

- ① 単相3線(200V/100V)もしくは単相2線(100V) <単相3線(200V)を推奨>
 - アース付きコンセントの設置
 - 屋外の場合は防雨型コンセント
- ② 漏電遮断機の設置
- ③ 配電盤から専用線での配線(推奨)
 - 最大15Aの電流が流れます。
- ④ コンセントと普通充電用充電口までは基本5m以内

※工事に当たっての留意点を裏面にも記載していますので、ご参照ください